

「遺品整理の現場から学ぶ」～最期まで孤立しないために～

「天国へのお引越しのお手伝い」キーパーズ 代表取締役 吉田太一

★はじめに

- ・なぜ私が講師なのか？（亡くなった方の部屋に入った事が日本で一番多い人だから）
- ・遺品整理の現場から故人の生き様から学ぶ。（遺品とは？・遺品整理は考古学？）
- ・DVDの放映と制作の目的（現実を知る事によって変わる自主的な考えや行動）

★孤立死を減らすのではなく、孤立させない事が重要

- ・孤立死の実態の把握は困難（解決するには現状と実数の把握が前提だが・・・）
- ・社会から孤立していなければ死後数日発見が遅れても孤立死ではない（室内事故死）

★現場に遺された生き様から見える原因

- ・年間遺品整理件 1600 件、孤立死の作業件数約 200～300 件（80%が男性と非常に多い）
- ・高齢者の問題だけではない？（意外に多い初代オタク世代 50 代から 65 歳までの孤立死）
- ・過去 40 年間で何が起こったのか？（1 ルーム M、コンビニ、PC、携帯、ゲーム等の増加）
- ・何故、孤立し引き籠るのか？（会社から突然突き放された不器用な中年男性の心理）
- ・バランスの崩れた人間の増加（誰にも干渉されず、不衛生で乱れた部屋で暮らす人々）
- ・本当の健康意味を忘れた人々の増加（身体的、精神的、社会的、経済的良好なバランス）
- ・若年化していく孤立化の問題（煩わしさから逃避し、便利と自由な世界で育った人格）
- ・孤立死に恐怖を感じない若者（人生の幸せ度の高い高齢者と低い 20 代の若者の心情）
- ・高齢化や少子化以上に怖い未婚者の増加問題（異性に関して興味のない若者の増加）
- ・男女共に増える単身世帯（結婚の意義の崩壊、女性の社会進出と男性の経済的不安定）

★男性と女性の違いによる要因

- ・目的、結論、同調が無いと長く話を続けられない男性、話すとスッキリする女性
- ・他人との会話のネタを持たない不器用で家庭生活で役に立たない男性（産業廃棄物？）
- ・セカンドライフを有意義に過ごせる女性、嫁が先に亡くなると生活できない男性
- ・“助けてほしい”と言えないプライドの高い不器用な男性（世話好きの女性に頼る選択）
- ・自立度の高い“おひとりさま女性”の孤立死の増加の危険性（生活時間が男性化する）

★社会から孤立しない為に・・・（孤立死以上に考えないといけない事）

- ・現実を知り“自分は孤立死したくない”という強い気持ちを持つ事が一番の対策
- ・親友よりも身近な友達を複数人持つ。 ※身内よりも親友よりも当てになる近くの友達
- ・部屋は綺麗にして、壊れた電化製品はすぐに修理する（バランスを保つ習慣を意識）
- ・若者の孤立化防止策を考える事が自身の孤立化防止対策につながる（示しがつかない）
- ・何歳まで生きるかを自分で決めておく事（距離と燃料を確認する…、1 年は 8760 時間）

★おひとりさまからの電話

- ・遺品整理の事前相談者の増加（大半が女性、自分の事は自分で・・・）
- ・30%は身内が居ない、30%は身内に迷惑かけたくない、30%は身内は全て拒否したい
- ・自分がまさかこの年まで生きるとは思わなかった（どうしたら上手く死ねるかしら？）
- ・質素に遠慮して大人しく生活しない事（少し可愛げを持ち、多少我ままな方が良い）